地域を越えた歴史文化の視点

27.　陸路・水路・海路の交通

【ストーリー】

山、川、海の豊かな自然に恵まれた赤穂では、古来よりこれらを活かした交通が発達していた。赤穂市北部の有年地域は、中近世には筑紫大道や西国街道が、現在は国道 2 号が通る重要な交通路であるが、かつてはこの東西交通に加え、千種川の舟運「高瀬舟」が南北を往来しており、交通の拠点として栄えていた。

高瀬舟が南下してたどり着くのは河口部にある坂越であり、また江戸時代の赤穂城下町であった。当時の赤穂は製塩の一大産地として栄えており、高瀬舟によって上流から製塩資材や年貢となる米が運ばれた。城下町や坂越からは、全国各地へ廻船が出帆し、他国からの船も頻繁に寄港した。その一つの証拠となるのが、坂越にある黒崎墓所（県史跡）であり、北は出羽、南は種子島、東は伊豆、西は対馬までを出身とする水夫らが、坂越浦周辺で客死したものを葬ったものである。

近代になると大正 10（1921）年に敷設された赤穂鉄道が市内の南北をつなぎ、高瀬舟に代わって物流を担ったが、国鉄（現在の JR）赤穂線の開業によって廃線となった。赤穂鉄道の線路跡の多くは市に寄付され、現在も人々の生活を支える主要道として、あるいは桜並木などを楽しめる散歩道として利用されている。江戸時代以来の旧道もその多くが残されており、まち並みとともに往時の風情をしのぶことができる。

千種川

高瀬舟灯台

旧赤穂鉄道軌道跡

根木鉄橋基礎跡

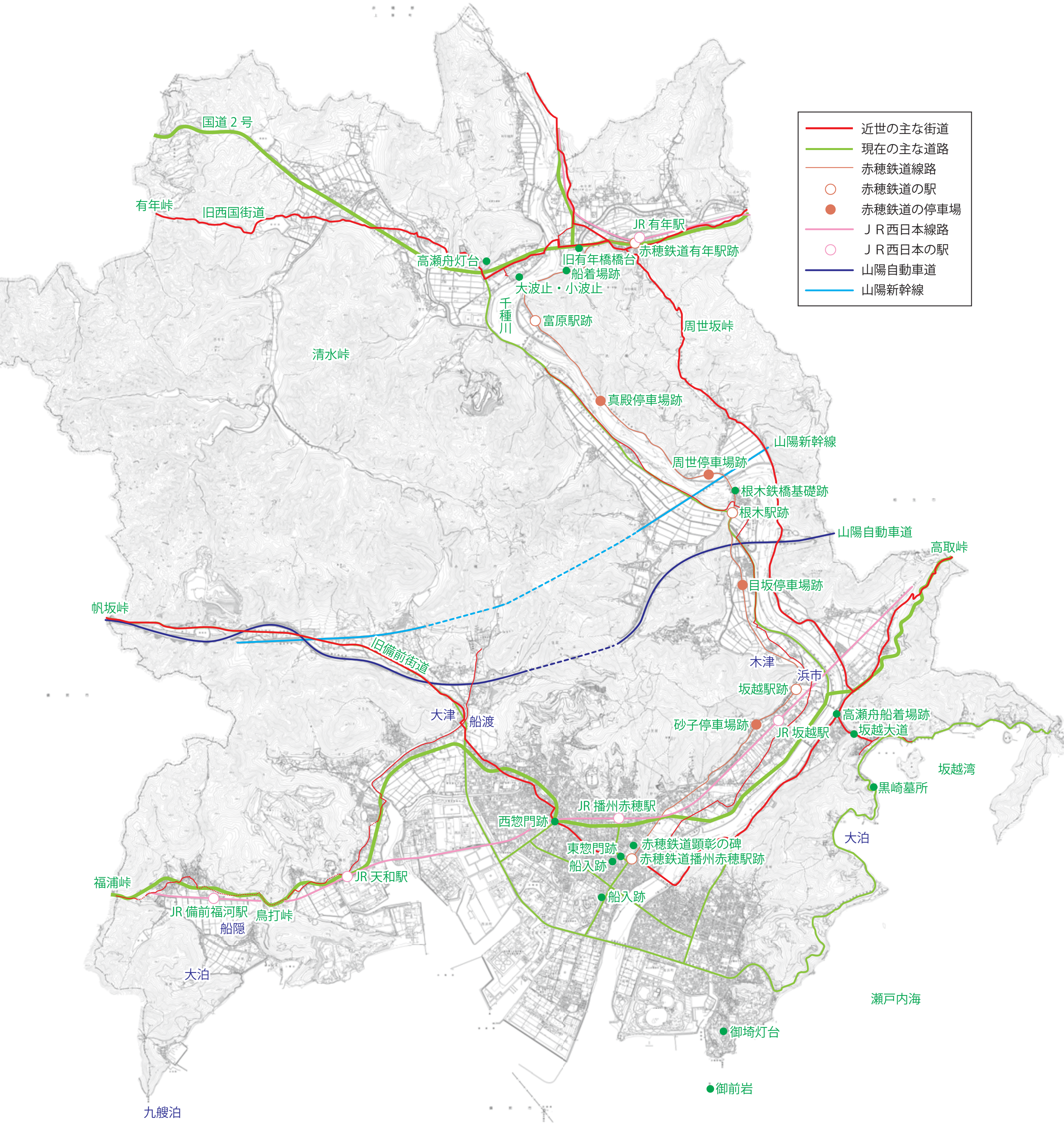
坂越湾

塩屋のまちなみ

加里屋川護岸の雁木

旧備前街道

御埼灯台


近世の主な街道
現在の主な道路
赤穂鉄道線路
赤穂鉄道の駅
赤穂鉄道の停車場
ＪＲ西日本線路
ＪＲ西日本の駅
山陽自動車道
山陽新幹線
国道２号
有年峠
旧西国街道
高瀬舟灯台
JR 有年駅
旧有年橋橋台
赤穂鉄道有年駅跡
船着場跡
大波止・小波止
千種川
富原駅跡
周世坂峠
清水峠
真殿停車場跡
山陽新幹線
周世停車場跡
根木鉄橋基礎跡
根木駅跡
山陽自動車道
高取峠
目坂停車場跡
帆坂峠
旧備前街道
木津
浜市
坂越駅跡
大津
船渡
砂子停車場跡
JR 坂越駅
高瀬舟船着場跡
坂越大道
坂越湾
黒崎墓所
JR 播州赤穂駅
西惣門跡
東惣門跡
赤穂鉄道顕彰の碑
船入跡
赤穂鉄道播州赤穂駅跡
大泊
福浦峠
JR 天和駅
JR 備前福河駅
鳥打峠
船隠
船入跡
大泊
瀬戸内海
御埼灯台
御前岩
九艘泊
0
1km
1:70,000
凡例　●もの　●場　●こと